

平成30年産水稻の出穂状況について（8月6日現在）

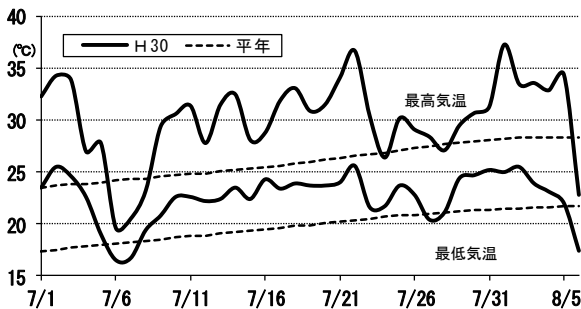
1 出穂状況等（概況及び今後の管理）

- 8月6日現在、57,991ha（水稻作付見込面積の90.0%）で出穂が確認された。
- 週間天気予報によると、台風第13号や気圧の谷の影響で曇りや雨で、後半は高気圧に覆われて晴れる所もあるとされている。最高・最低気温ともに平年並か平年より高いと予報されており、稲体の消耗による登熟不良や白未熟粒の発生等により品質低下が懸念されることから、出穂後高温時の水管理としては「昼間深水・夜間落水管理」※、または用水の確保が難しい状況においては「走水等により土壌を常に湿潤状態に保つ水管理」を行うよう指導している。
- 気象台から「台風第13号に関する宮城県気象情報第1号」が発表され、宮城県でも8月9日にかけて大雨となるおそれがあることから、事前に排水路等の確認を行うとともに、冠水した場合には早期排水に努めるよう指導している。
- 出穂した水田内において、斑点米カメムシ類の発生量が平年より多くなっており、8月3日に病害虫防除所より注意報が発表されている。薬剤防除は、「穂揃期」と「その7～10日後」の2回防除を徹底するとともに、出穂時期が早まっていることから防除時期を逃さないよう指導している。

※ 晴天等の高温時において昼間はできるだけ深水とし、夜間は逆に落水管理とする水管理の方法。

2 具体的データ

(1) 最高・最低気温の推移（仙台アメダス）



(2) 旬別の気象データ（仙台アメダス）

	平均気温(°C)		降水量の合計(mm)		日照時間(時間)	
	平年差	平年比	平年差	平年比	平年差	平年比
5月	17.0	2.0	102.5	93%	183.6	99%
6月	20.3	1.8	100.5	69%	173.2	129%
7月上旬	24.0	3.4	48.5	79%	49.9	145%
中旬	26.3	4.3	6.0	9%	54.5	155%
下旬	26.2	2.5	4.0	8%	58.7	117%
7月	25.5	3.3	58.5	33%	163.1	136%

(3) 地方振興事務所・地域事務所別及び地帯区分別出穂状況

①地方振興事務所・地域事務所別

地区名	水稻作付見込面積(ha)	8月6日現在出穂状況			進行月日			(参考)平成29年度		
		出穂面積(ha)	進行率(%)	出穂始期	出穂期	穂揃期	出穂始期	出穂期	穂揃期	
大河原	6,707	6,196	92.4	7/25	7/28	—	7/26	7/29	8/10	
仙台	12,218	10,801	88.4	7/28	8/1	—	7/29	8/3	8/10	
大崎	18,174	16,033	88.2	7/29	8/1	—	7/28	8/1	8/10	
栗原	9,083	8,149	89.7	7/27	7/31	—	7/29	8/1	8/13	
登米	9,905	9,410	95.0	7/29	7/31	8/6	7/29	8/1	8/6	
石巻	7,458	6,727	90.2	7/29	8/1	—	7/29	8/2	8/19	
気仙沼	910	675	74.2	8/1	8/4	—	8/2	8/7	8/15	
県計	64,455	57,991	90.0	7/28	7/31	—	7/29	8/1	8/11	

②地帯区分別

地帯区分	水稻作付見込面積(ha)	8月6日現在出穂状況	
		出穂面積(ha)	進行率(%)
山間高冷	976	580	59.4
西部丘陵	5,388	4,402	81.7
北部平坦	42,546	39,244	92.2
南部平坦	5,384	5,130	95.3
三陸沿岸	1,567	934	59.6
仙台湾沿岸	8,595	7,701	89.6
県計	64,455	57,991	90.0

※出穂始期、出穂期、穂揃期は、それぞれ水稻作付見込面積の5%、50%、95%以上が出穂した日である。

※平成30年作付見込面積は、農産環境課でとりまとめた主食米の作付見込面積を用いた。

(4) 出穂時期の比較

区分	出穂始期(5%)	出穂期(50%)	穂揃期(95%)
本年	7月28日	7月31日	—
前年	7月29日	8月1日	8月11日
平年	8月1日	8月4日	8月11日
平年差	4日早い	4日早い	—

※平年値は平成20～29年の10か年のうち最も早い年と最も遅い年を除いた8か年の平均値を用いた。

※次回は、8月10日現在の出穂状況を8月13日発表予定です。